

和名：サツマイモノメイガ

学名：*Omphisa anastomosalis* (Guenée)

英名：sweet potato stem borer

分布

東南アジア、東アジア、南アジア、アメリカ、ハワイ（我が国ではトカラ列島以南の南西諸島）



図 サツマイモノメイガ（成虫）

寄主植物

サツマイモ属植物の生茎葉及び生塊根等の地下部

形態

成虫は体長12～15mm、開張28～40mmで体色は暗黄褐色。前翅は淡黄色で基部、外縁は暗褐色。後翅は前翅よりも透明部が多い。卵は長楕円形で、直径約0.5mm、淡緑色。幼虫は終齢で体長25～30mm、幅3.5mm。淡黄色で薄紫色を帯び、頭部は褐色。第2節以下の各節には暗褐色の円紋がある。蛹は体長17mm、胸幅4mm程度で淡褐色。

生態

卵は葉表、葉裏や葉柄に産まれる。通常1卵ずつ産まれ、1週間程度でふ化する。ふ化幼虫は産卵場所やその付近から植物体に食入し、蔓に移行する。幼虫は6齢を経て通常蔓の中で蛹化するが、塊根に食入し、そこで蛹化する場合もある。ふ化から成虫羽化までは27℃で45日程度である。成虫は夜間に行動が活発となる。成虫寿命は約10日で、生涯に150卵以上を産む。

被害

本種による主な被害は幼虫が蔓に食入することによってもたらされる。加害を受けた蔓は弱く、折れやすくなり、イモの生産量も落ちる。幼虫が地際部まで食い進んだ蔓付近の地面には虫糞が堆積する。また、蔓から地下茎を通して塊根内部を食害する場合もある。